

## 「賃上げ」の流れの拡大と 「すべての労働者の立場にたった 働き方の見直し」を!!



### 2019春季生活闘争1万人総決起集会・第19回統一地方選挙総決起集会を開催

連合愛知は、3月3日(日)に久屋広場にて「今こそブレイクスルー!すべての労働者の待遇改善と働き方の見直し!」をスローガンに、2019春季生活闘争1万人総決起集会・第19回統一地方選挙総決起集会を開催しました。

これからヤマ場を迎える2019春季生活闘争において、要求実現と機運の盛り上げをはかるために行われたこの集会には、連合愛知、構成組織からの参加者など、約1万人が参加しました。

集会に先立ち、青年委員会・女性委員会によるシップリコールにより会場を盛り上げ、各構成組織旗手の登壇により集会がスタートしました。

佐々木会長あいさつ(P2.参照)、4人の代表の決意表明、河野副会長の「集会アピール」を読み上げ参加者全体の総意で採択しました。

続いて、第19回統一地方選挙に向け、推薦・支持候補者全員の登壇後、安藤副会長より必勝決議が読み上げられ参加者全体の総意で採択されました。その後、新政あいち塚本代表による決意表明が行われました。

最後に豊田副会長によるガババロー三唱で春闘勝利ならびに第19回統一地方選挙必勝への意思固めを行いました。

集会後は、青年委員会・女性委員会が先導役となり、参加者全員で「月例賃金を引き上げるぞ!」「働き方を見直すぞ!」など、名古屋市内でデモ行進を行いました。



可知副会長  
(電機連合)



仲野財政部次長  
(国公総連・全農林愛知分会)



必勝決議を読み上げる  
安藤副会長



深田副執行委員長  
(JAM・メイテックス労組)



安藤执行委员長  
(自治労・岡崎市非常勤職員労組)

決意表明を行う構成組織代表者

青年委員会・女性委員会と  
約1万人の参加者によるシップリコール



シップリコールをしながらのデモ行進



## 佐々木会長あいさつ



佐々木会長

本年の春闘を取り巻く環境は、景気が緩やかに回復を続け、企業業績は堅調に伸び、その一方で労働分配率は低下し続けています。更に、実質賃金も伸び悩んでおり、未だ働く者は景気回復を実感できず、消費も力強さを欠いている状況にあります。直近では、米中貿易摩擦や中国経済の減速の影響が出始め、先行きが懸念されているところです。そうした中においても私たち労働組合は、明るい未来を切り開くという強い意を持って、本年の春闘に取り組んでいかなくてはなりません。

この一年間を振り返れば、目まぐるしく変化する環境の中、多くの職場で人手が不足し繁忙を極めました。それぞれの職場で働く組合員の皆さんの努力と頑張りで何とか乗り越え、多くの成果を生み出しているはずです。そうした組合員の努力と生み出した成果にしっかりと焦点を当て、報いていく必要があります。それを強く経営に訴えていく事が労働組合の役割です。

その一方で春闘を通じて社会全体を豊かにするという事も、私たち労働組合に課せられた使命であるという事を強く意識して取り組んでいかなくてはなりません。まずは、この事を皆さんと共有しておきたいと思います。

本年の春闘のポイントを3点申し上げます。

1点目は、月例賃金の引き上げにこだわるとともに「底上げ・底支え」「格差の是正」に取り組むことです。これまで格差の是正に取り組んできましたが、社会全体に賃上げの流れが届いているとは言えず、とりわけ中小企業では一部にとどまっていると言わざるを得ません。本年も格差の是正に取り組みその実効性を高めるためにも、従来の上げ幅、いわゆるベアだけの議論に終わることなく、賃金の根元からの高さについても労使で確認する事が重要です。それぞれの賃金水準が地域で、同じ業界で、どういった位置づけにあるのかを確認し、働きの価値に見合った賃金水準をめざして取り組んでいただきたいと思います。

2点目は、取引の適正化の推進です。2016年から取り組みをはじめ、多くの経済団体などでも取り組まれるようになってきました。しかしながら、未だに旧来の商慣行が横行しており、そのしわ寄せが中小企業にいっています。その事が、中小と大手企業の賃金格差や働き方の格差に繋がり、中小企業の深刻な人手不足の大きな要因ともなっています。こうした事を解消するとともに賃上げの流れを社会全体に広げるという意味においても、労働組合の立場で取引の適正化に

取り組んでいかなくてはなりません。個々の労使協議の場において取引の適正化を取り上げ、議論していただきたいと思います。

3点目は、すべての労働者の立場にたった働き方の実現です。働く者一人ひとりが心身ともに充実し、意欲と能力を十分に発揮でき、安全で健康に働く職場づくりに取り組む必要があります。労働組合として職場の実態や声を正しく把握し、より実態に即した仕組みや制度の構築をめざして取り組んでいただきたいと思います。

以上、本年の春闘のポイントを申し上げました。

この他にも、雇用形態間の格差の解消などにも当然取り組まなくてはなりませんが、いずれにしても個々の労使が職場の課題や企業の課題に真摯に向き合い納得のいく回答を導き出す、そしてその結果を社会全体に波及させていく事が重要です。3月13日にヤマ場を迎える先行する組織には、後に続く組織の皆さんにとっての底上げ・底支えの土台となるような取り組みを期待します。

続いて統一地方選挙について、私たちがめざす「働くことを軸とする安心社会」を実現するうえで選挙は避けて通れない道です。選挙を通じて、私たちのめざす社会像に賛同する議員を増やしていく事がその実現の近道であるという事を、職場の一人ひとりに理解していただく事が重要です。春闘で大変な時期ですが、職場の一人ひとりにしっかりと向き合って取り組んでいただく事をお願いします。

昨年、新政あいちという政治団体が発足しました。新政あいちに所属する全ての議員は、連合愛知の政策推進議員です。従って新政あいちに所属する候補者を、国政政党に関わらず支援していかなくてはなりません。新政あいちの議員は連合愛知の議員である、という事を改めて皆さんと共有しておきたいと思います。その上で、推薦した全ての候補者の当選をめざして、それぞれの立場でご尽力いただく事をお願いします。

最後に、春闘・統一地方選挙ともに私たちの暮らしを豊かにする大変重要な取り組みです。将来不安のない明るい社会をめざして、連合愛知の総力を挙げて取り組んで行く事を確認し合うとともに最良の結果をつかみ取る事を期待します。



## 連合愛知1万人総決起集会アピール

河野副会長による  
集会アピール

連合愛知は、本日ここに「今こそブレイクスルー!すべての労働者の待遇改善と働き方の見直し!」をスローガンに、2019春季生活闘争1万人総決起集会を開催した。

日本経済は緩やかな回復が見込まれ、企業収益は好調を維持している。一方、2014春季生活闘争以降「底上げ春闘」を掲げ、一定の成果をあげてきたが、賃上げの流れが社会の隅々まで届いているとはいはず「格差は正」は道半ばであり、いまだ多くの働く者・生活者が「景気回復」を実感できていない。

とりわけ、全労働者の約7割を占めている中小企業と大手企業の賃金格差は依然として大きいままである。賃上げの流れを抜け、「底上げ・底支え」「格差は正」の実効性を高めるためにも、「賃金水準」の追求にこだわり、すべての労働者の賃金を「働きの価値に見合った水準」へと引き上げていく取り組みを進めるとともに、

サプライチェーン全体で生み出された付加価値の適正分配の取り組みを強化していく。

また、2019春季生活闘争は働き方改革関連法の施行を目前に控えた取り組みとなる。長時間労働のは正や同一労働同一賃金の実現をめざし、法令順守はもとより、個々人の状況やニーズに合った多様な働き方を選択できる仕組みを整え、「すべての労働者の立場に立った働き方」の見直しを推し進めていく。

私たちは、社会の不条理や企業規模・雇用形態・男女間による格差を是正し、すべての働く者・国民の生活の底上げがはかられるよう、積極的に社会に発信し行動していく。連合がめざす「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、すべての働く仲間とともに最後まで果敢に闘い抜くことをここに宣言する。

キャンペーン  
が主役です。

2019年3月3日  
連合愛知2019春季生活闘争1万人総決起集会

## 中小企業で働く仲間を元気に！

### 2019春季生活闘争 「連合愛知 地域フォーラム」



伊藤 智子 氏

2019春季生活闘争1万人総決起集会・第19回統一地方選挙総決起集会終了後、ナディアパーク3階デザインホールにおいて「2019春季生活闘争 連合愛知 地域フォーラム」を開催し、構成組織・地協・政策推進議員懇談会・労福協・経営者団体・愛知県など約300名が参加しました。

本フォーラムは、すべての労働者の「底上げ・底支え」「格差是正」による待遇改善と働き方の見直しに向けて、地域に開かれた春季生活闘争としてAction!36の取り組みと連携し、中小企業で働く仲間を元気にするための方策について理解を深めるために開催いたしました。

冒頭、主催者を代表し佐々木会長からは「本年の春季生活闘争は、『底上げ・底支え、格差是正』『取引の適正化の推進』『すべての労働者の立場にたった働き方の実現』の3点がポイントとなる。特に中小労組・未組織の労働者まで賃上げを



パネリスト:左から、  
相原 康伸氏(連合事務局長)、森岡 仙太氏(愛知県副知事)、  
加藤 宣明氏(愛知県経営者協会 会長)、  
加藤 明彦氏(愛知中小企業家同友会 会長)、  
畠 慎一氏(UAゼンセン愛知県支部 支部長)

波及させ格差の是正に取り組むことと、取引の適正化について重点的に取り組んでいく。また、Action!36の取り組みについてもご協力を頂きたい」と挨拶がありました。

基調講演では、フリーキャスターで事業創造大学院大学客員教授の伊藤聰子氏より「地域が日本を変える!これからの企業のあり方」と題し、各地域で元気に経営をしている中小企業を事例に挙げながら「企業の課題はビジネスチャンスであり、中小企業は大企業とは異なりその課題に対してスピード感を持って対応できる。感じる力、気づきから創意工夫をして頑張ってほしい」との講演を頂きました。

その後のパネルディスカッションでは、伊藤聰子氏をコーディネーターに「中小企業で働く仲間を元気にするために」をテーマに、中小企業が抱えている人材確保、働き方改革の取り組みなどの課題について、労働者団体・経営者団体・愛知県など各視点からの討論が行われました。

なお、パネルディスカッションでは、参加者全員へ質問を行いYES・NO冊子で実態を把握し、それを踏まえパネリストが意見交換を行うなど、全員参加型で実施しました。

冊子を掲げる参加者の皆さん



## 粘り強い交渉で働く仲間の待遇改善を！

### 2019中小労組交渉事前学習会を開催

連合愛知は2月9日(土)に、2019春季生活闘争における中小労組の支援強化を目的に、中小労組新任役員や構成組織中小労組担当者を対象とした中小労組交渉事前学習会を開催しました。

学習会では、連合本部 藤川労働条件・中小労働対策局長から、中小労組元気派宣言の冊子を用いて、要求の作成から要求提出・妥結までの流れなど、交渉の基礎とポイントについて説明がなされました。



グループ討議

続いて、JAM東海 井上書記長から、JAMが取り組みを進めている単組から集約した個別賃金データの活用方法や分析の仕方などについて説明を頂き、賃金カープの歪みなどの確認の重要性について学びました。その後のグループ討議では、中小・雇



連合本部 藤川労働条件・  
中小労働対策局長

用労働委員会委員が座長となり、春闘交渉での悩みや課題など様々な意見交換を行い、共通認識をはかりました。最後に、参加者がガバローニ唱にて決意を固め終了しました。



JAM東海 井上書記長

# 働きすぎにレッドカード!! 働く仲間の不安・悩みの解消へ

## 全国一斉集中労働相談ホットラインを実施

連合愛知は、2月6日(水)～8日(金)の3日間わたり労働相談ホットラインを実施しました。

今回は「働きすぎにレッドカード!!～2019年4月から時間外労働に上限規制が導入されます～」をテーマとして実施し、3日間で61件の相談が寄せられました。各相談に対し、連合愛知ならびに11地協役員が相談役として、アドバイスや労働契

約法の解説など真摯に相談を受けました。

また、2月6日からの全国一斉集中労働相談ホットラインの開催に合わせ、栄メルサ前・金山総合駅の他、地協の協力を得ながら愛知県下18力所で街頭宣伝行動およびポスティングを実施し、労働相談ホットライン実施の周知をはかりました。



栄メルサ前での街頭宣伝行動(夕刻)



金山総合駅での街頭宣伝行動(早朝)



相談への対応の様子

連合愛知は、今後も「労働相談ホットライン(0120-154-052)」において、すべての働く仲間の不安や悩みに応えるとともに、組織化を含めた助言や支援を続けていきます。

## あなたのやさしさが広げる大きな支援の輪

### 第27回「連合愛知助け合い運動」によるカンパ金寄託式

連合愛知は2月25日(月)、「連合愛知助け合い運動カンパ金寄託式」を行いました。今回は、各構成組織に改めて活動への理解促進をはかるべく、第5回(拡大)執行委員会と合せて行いました。

「連合愛知助け合い運動」は、本年で27回目を迎え、連合愛知構成組織の協力を得て集められたカンパ金を愛知県共同募金会に寄託し、民営小規模施設等の設備費や在宅福祉サービス関連車両整備費、就労支度支援事業などに役立てています。



岡谷会長より感謝状を受け取る  
連合愛知 佐々木会長

り組んでいくとの挨拶がありました。

続いて、連合愛知・労福協の寄付金をそれぞれ愛知県共同募金会の岡谷会長に寄託し、愛知県共同募金会からは感謝楯および感謝状の贈呈を受けるとともに、活動に対する理解と協力に対するお礼の言葉を述べされました。また、過去に就職支援支度金を受け取った方から、支度金の活用などを含めた紹介と、感謝の挨拶が述べされました。

今年度の寄託金は3482万7297円となり、1992年から継続している共同募金会に寄託したカンパ金総額は10億4655万9514円となった。構成組織・組合員の皆様のご理解とご協力に深く感謝申し上げます。

#### 赤い羽根募金とは

共同募金は戦後間もないころ(昭和22年)、市民主体の相互扶助として始まった活動のひとつです。現在では、社会福祉の課題解決に取り組む市民団体を応援する「自分たちの町をよくするしくみ」として取り組まれており、養護施設や社会福祉施設の改修などに使われます。

詳しくはこちら!▶



## 誰もが参加しやすい労働組合活動へ！

### 第1回青年委員会学習会(女性委員会合同)を開催



第1部 参議院議員 大塚 耕平 氏

連合愛知青年委員会は、2月16日(土)に第1回青年委員会学習会を女性委員会と合同で開催しました。

学習会では第1部として「私たちの暮らしと政治の関わりについて」と題し、参議院議員の大塚耕平氏より、日本が置かれている課題とともに、政治がどれだけ身近なものなのか、なぜ政治への参画が必要なのかについてご講演を頂きました。第2部では、グループに分かれ「誰もが参加しやすい労働組合イベント企画」と題し、連合愛知が用意した基本設定(参加対象や年齢、人数、予算等)をもとに、誰もが参加しやすいイベントの企画について討議しま



した。各グループからは、開催時間の工夫や子育て中の方でも参加できるための仕組みづくりなど、グループごとに考えた内容を発表し全体で共有しました。

その他では、1万人総決起集会に向けた打ち合わせとりハーサルを実施するとともに、初めてとなる青年委員会・女性委員会合同での委員会も実施し、お互いの取り組みに対する理解向上をはかりました。



## 学生の生涯にわたるキャリアプラン設計のために！

### 愛知県立大学と大学寄付講座の協定を締結

連合愛知は、2月28日(木)に愛知県立大学と大学寄付講座を設ける協定を締結しました。

連合大学寄付講座は、これから社会にでる大学生に「労働組合の役割や労働運動の意義を理解してもらいたい」「ワーカルールの知識を身につけてほしい」「働くことの意味を知る手助けになれば」という問題意識から、2005年よりスタート



しました。連合愛知としては初めての寄付講座の設置であり、期間は10月～来年1月にかけての全15講義です。

この取り組みを通じて、①働く現場の実情と諸課題を理解し、その解決に向けて考える姿勢とそのための

知識を培う②労働環境を理解することで自らのキャリアプランを設計し、大学で学ぶことの意義を自ら考える能力を養う③大学と労働組合が連携し、学生と社会双方の現代社会的ニーズに積極的に応えることを目的に実施していきます。



協定書に署名する佐々木会長

左:久富木原学長 右:佐々木会長

## 連合愛知 青年委員会の活躍紹介

このコーナーでは、連合愛知青年委員の労働組合活動や職場での様子などを紹介します。



### 辻 幸希 青年委員会委員

愛知県電力総連で連合愛知青年委員会を担当している辻です。普段は高圧で電気供給しているお客様の電気設備保守・点検等の技術者として働きながら組合活動を行っています。今回は愛知県電力総連の活動をご紹介します。

私たちは年2回(春・冬)を基本に、スポーツイベントや交流会など、参加してくれる組合員が楽しくコミュニケーションがとれる企画を立案・運営しています。具体的には、広い会場を貸し切って組合活動や、社会的に旬な話題をテーマにしたチーム対抗クイズを取り入れた交流会。また、若者を中心に入気が高まっているバブルサッカーと、バ

ーベキューを組み合わせた企画などを実施してきました。

他にも国政研修会として、組織内外の国會議員との意見交換や、国会議事堂の見学などを通じて、各単組組合員の政治参画意識の向上につなげる活動も行っています。

これからも組合活動を通じ、若い世代から繋がりを強化し、よりよいネットワークの構築と、なにか困ったことがあればみんなで助け合える環境を作れるよう活動を進めていきます。

### 第5回(拡大)執行委員会

2019年2月25日

#### 確認事項

- 1.当面の日程について
- 2.2019年度年間大日程について
- 3.登録人員の変更について
- 4.構成組織の組織拡大
- 5.地方アドバイザー業務委託の更新について
- 6.「2019春季生活闘争1万人総決起集会」「第19回統一地方選挙総決起集会」の開催について(その3)
- 7.街頭宣伝行動の取り組みについて—2019年6月—  
2019年6月3日(月) 17:30~18:30  
女性のための全国一斉労働相談ホットラインのPR
- 8.「2019連合愛知ユニオントレーニング リーダーズコース」受講生の募集について
- 9.特定(産業別)最低賃金改正の申出意向表明について
- 10.愛知労働局との意見交換会の開催について
- 11.安全衛生センター「第1回安全衛生担当者研修会」の開催について
- 12.2019年度愛知労使共同事業「高校生のための出前講座」講師の情報変更及び登録抹消の確認依頼について

- 13.連合愛知「第20回地域政策推進フォーラム」の開催について
- 14.連合愛知青年委員会「ECOとやろう!キャンペーン2019」の実施について
- 15.「2019ふれあいフェスティバル」の開催について
- 16.女性役員意見交換会の開催について
- 17.連合平和4行動の派遣について
- 18.「名古屋市長に対し名古屋城木造天守にエレベーター(EV)設置を求める署名」への協力について

#### 議 事

- 1.第25回参議院議員選挙の取り組み方針(その2)【案】
- 2.第19回統一地方選挙に伴う候補者推薦(第9次)について
- 3.第19回統一地方選挙に伴う連合東海ブロック相互推薦候補者(第4次)について
- 4.第25回参議院選挙東海ブロック相互推薦候補者について
- 5.瀬戸市長選挙に伴う候補者推薦について
- 6.美浜町長選挙に伴う候補者推薦について
- 7.稲沢市議会議員選挙に伴う候補者推薦について
- 8.小牧市議会議員選挙に伴う候補者推薦について

あなたの職場で働くすべての人と家族の  
こころの相談室  
**心の相談室**

**電話相談** 052(618)7831  
**専用電話** 月／15:00～19:00 水／12:00～19:00 金／16:00～20:00  
 ※祝祭日を除く。相談料は無料ですが、電話料は相談者負担となります。  
**面接相談** 場所／(社)日本産業カウンセラー協会中部支部  
 ※事前の予約が必要です(1回の面接時間は1時間以内)。2回目までの相談は無料で、3回目以降は1回当たり1,000円を相談者に負担して頂きます。

## 連合愛知 ラジオ番組 「ENJOY WORKING!!」放送中!!



ナビゲーター「白井奈津」  
NO.1 RADIO STATION

ZIP-FM 77.8



**Facebook** いいねしてね!

◆連合本部

あなたの「いいね」が社会に向けた世論喚起につながり、あなたの「シェア」が大きな力となります!



連合愛知

#### 連合愛知ホームページ

連合愛知の活動紹介、ブログ、各種資料データなどを掲載しています。  
ぜひ、ご覧ください。

